

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名	DRK青山スタジオ	公表日	2026/03/27
------	-----------	-----	------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100.0%	0.0%	・トレッキング室や近隣の公園を活用し、お子様の活動スペースを確保しています。	・課題合わせてスペースを確保していくため、連携が必要と感じています。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100.0%	0.0%	・法令遵守で配置しています。	・スタッフ間では人員を増やしてほしいとの声がある。お子様の十分な安全管理を考え、引き続き雇用を進める予定です。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	85.0%	15.0%	・必要に応じてスタッフが補助に入っています。	・扉の鍵が複数あり、子供が一人になってしまう可能性があります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100.0%	0.0%	・児童の入れ替わりや利用のない時間に片づけ・整理整頓を心がけています。 ・コーナーガードを取り付ける等対策をとっています。	・段差や扉の開閉時の衝突、道具からの落下防止などの安全管理を日々対策とっています。 ・1日の開始時と終了時の両方で消毒を行っています。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100.0%	0.0%	・トレッキングの部屋を個別として利用するようにしています。 ・長テーブルを2つ置いているため、机上課題も実施できるようにしています。	・トレッキング室と個室が一緒なためそれぞれの目的で場所パッティングがないようスタッフ間での連携を日々行っていきます。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100.0%	0.0%	・PDCAサイクルに基づき業務改善に向けて終礼昼礼で共有して取り組んでいます。	・情報共有をする場を設けてPDCAサイクルを引き続き意識していきます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%	保護者様との面談を行い、支援の意向について都度決めていく機会を作っています。	・引き続き保護者様と密にお話しさせていただき形をとっていきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%	・年2回の面談や職員向けの体制チェックリストを実施していき、業務に対する意識づけを図っていきます。	・引き続き管理者による職員の面談を定期的に行っていきます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	70.0%	30.0%	・モニタリングや事業所連絡会に参加しています。	・今後モニタリングを実施し、外部の評価を確認し様子の変化や情報を確認していきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100.0%	0.0%	・定期的に研修を行っています。	・研修用動画を用意したので、積極的に学べる環境を作っていきます。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100.0%	0.0%	・半年に一度作成した支援計画を更新し、保護者様に公表しています。	保護者様との計画書について密な面談の機会をさらに作っていきます。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100.0%	0.0%	・管理者・児発管が面談を行い、その内容をスタッフ間で共有しケース会議をしたうえで計画を作成しています。	・引き続き、スタッフでニーズの漏れがないように全員が把握している環境を作っていきます。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.0%	0.0%	・ケース会議をスタッフ参加で必ず行っています。	・引き続き必ずケース会議を行い、ニーズや児童の特性について理解していきます。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.0%	0.0%	・支援計画が出来た際には全員に目を通すようにスタッフ間で共有しています。	・引き続きスタッフ間の共有を行い、計画に沿って支援が出来るように徹底していきます。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100.0%	0.0%	・HUGを使った支援を今年から行っています。	・引き続きHUGをつかっていきます。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.0%	0.0%	・支援計画に記載して設定していきます。	・引き続き計画書の記載を続けていきます。 ・地域連携や家族支援にもより力を入れていきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100.0%	0.0%	・担当療育士を中心にいつでもスタッフ間で相談できるようにしていきます。	・よりスタッフ間で話し合える様に昼礼終礼を活用していきます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.0%	0.0%	・担当制にせず色々な資格のあるスタッフが担当するようにしている。 ・ケース会議・研修でプログラムの課題や工夫を話し合っています。	・様々な職員が関わることでプログラムの固定化をしないように支援を行っている。 ・引き続き研修等を定期的にかけて更に充実させていきます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100.0%	0.0%	・ニーズに合わせて小集団療育を取り入れております。 ・毎週日曜日は小集団のフィールド療育を行っております。	・ニーズに合わせて、個別活動と集団活動をそのお子様に合わせて計画作成・支援できるように努めていきます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	85.0%	15.0%	・スタッフルームにてその日の割り振りを確認しながら行っています。	・当日の支援に入る担当職員の裁量に任されていることが多く感じます。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100.0%	0.0%	・終礼時に話し合い事項を業務日誌に記録する業務を必ず行っています。	・些細な情報も共有していき、確認漏れがないように共有頻度をより上げていきます。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.0%	0.0%	・必ず記録を取り、記録の内容はいつでも見れるように鍵付き書庫の上段に保管しています。	・引き続き行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.0%	0.0%	・少なくとも半年に一度保護者様と面談し、支援計画を見直しています。	・引き続き見直しを意識して徹底していきます。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100.0%	0.0%	・児童発達支援管理責任者・管理者が参加しております。	・引き続き参加してまいります。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100.0%	0.0%	・ニーズに合わせて行っております。	・ニーズに合わせて積極的に連携していきます。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	25.0%	75.0%	・自発的なモニタリングや関係機関連携が取れていません。	・積極的にニーズに合わせてモニタリングなど行っていく機会を作っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	40.0%	60.0%	・ニーズに合わせて行っております。当スタジオは多機能施設なので、児発からご利用のお子様は特に情報共有させて頂いております。	・放課後等デイサービスからご利用のお子様もニーズに合わせて相互理解に努めてまいります。	
	(28～30は、センターのみ回答)						
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
(31は、事業所のみ回答)							
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	100.0%	0.0%	モニタリングやニーズを確認する機会を作って地域連携を図っています。	引き続き機会を作り連携していく頻度を上げていきます。		

関係機関や保護者との連携	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	25.0%	75.0%	・特定のスタッフ（児童発達支援管理責任者）以外の交流の機会はまだ作れておりません。	・ニーズに合わせて、保育所や幼稚園等の訪問をし交流をより取ってまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.0%	0.0%	・フィードバック時や保護者の来所時などに積極的にコミュニケーションを取るようしております。 ・LINEなども活用し相談しやすい環	・引き続き保護者様にとって相談しやすい環境を作れるように努力してまいります。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10.0%	90.0%	・現在行っておりません。	・ニーズに合わせて対応してまいります。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.0%	0.0%	・契約時に説明しております。	・引き続き分かりやすく明確にお伝えしてまいります。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.0%	0.0%	・保護者様来所時に積極的に話しかけるようにしたり、子供達とのコミュニケーションを頻繁に取るようにしております。	・引き続き保護者様やお子様とのコミュニケーションを大事にして参ります。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100.0%	0.0%	・行っております。	・引き続き分かりやすく説明できるように努力してまいります。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.0%	0.0%	・面談時やLINE、来所時などにお話し頂いております。気になる保護者様には面談をご提案しております。	・引き続き、相談しやすい事業所であるよう積極的に保護者様とコミュニケーションを取ってまいります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10.0%	90.0%	・保護者会などの支援は現在行っておりません。 ・保護者会としてではなく保護者様同士で共有できるように配慮はしています。	・保護者会については今後検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.0%	0.0%	・すぐに児童発達支援管理責任者もしくは管理者がお話しさせて頂くようにしております。	・今後も迅速に対応できるようにレポートラインをスタッフ間で共有して確認してまいります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100.0%	0.0%	・HPやInstagramを活用しております。	・HPを新しくする予定です。Instagramも更新頻度を高めていきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%	0.0%	・鍵付き書庫を使って保存し、厳重に管理しております。	・取り扱いには十分気を付けてまいります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0%	0.0%	・口頭でお話ししたことをLINEで確認するなどの工夫をしております。	・引き続き分かりやすくメールやLINEで情報伝達できるように努めてまいります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	60.0%	40.0%	・地域住民を招いての行事は行っておりません。	・今後検討してまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100.0%	0.0%	・定期的に研修・避難訓練を行っております。	・引き続き研修・避難訓練を徹底してまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.0%	0.0%	・BCPを策定し、避難時の備蓄を定期的に確認しております。 ・避難訓練を半年に一度行っております。	・引き続き定期的な確認と避難訓練を徹底してまいります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100.0%	0.0%	・保護者様にLINEや口頭で状況を確認しております。	・お子様の情報を把握し、心配なお子様にはこまめに情報を確認するように致します。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100.0%	0.0%	・アレルギー同意書を頂き、保護者様からご指示頂いた対応としております。	・必要なお子様には十分留意し、お菓子の配布等を保護者様を通じて行うようにします。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100.0%	0.0%	・安全計画を作成し、研修等でスタッフ間で共有しております。	・引き続き定期的に研修を行います。

非常時等の対応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100.0%	0.0%	・活動箇所のスタジオ内、公園での取組み内容を周知しております。	・引き続き保護者様に安心してご利用頂けるように周知してまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.0%	0.0%	・ヒヤリハットが出た際には終礼で話し合い、報告書を書いております。それに基づき研修を行っております。	・ヒヤリハットが出ないように研修を強化してまいります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.0%	0.0%	・虐待防止研修を定期的に行い、身体拘束や虐待防止についての理解を深めています。	・定期的に虐待防止研修を行うことで職員の理解をより深めていきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100.0%	0.0%	・準備しておりますが、必要な利用者様がいらっしゃいません。	・引き続き準備は十分にしていきます。